

再処理・リサイクル部会
核燃料サイクル施設シビアアクシデント研究ワーキンググループ (SAWG)

第3回 SAWG-II 会合 議事録 (要約版)

1. 日時 2015年7月8日(水) 9:30~12:30
2. 場所 秋葉原ダイビル18階 第3会議室
3. 出席者 (敬称略、順不同) 21名
主査: 池田泰久 (東工大)
副主査: 村松 健 (東京都市大)
幹事: 浅沼徳子 (東海大)、阿部 仁 (JAEA)、深澤哲生 (日立 GE)、松岡伸吾 (一)、
眞部文聡 (MHI)、吉田一雄 (JAEA)
委員: 青柳春樹 (一)、小玉貴司 (JNFL)、中村芳信 (JAEA)、平野光将 (電中研)、
森岡信男 (MMC)
オブザーバ: 小倉逸也 (東芝)、加藤徹也 (電中研)、柴田勇木 (JNFL)、鳥居伸彦 (MHI)、
藤原大輔 (TEPSYS)、松浦治明 (東京都市大)、森田泰治 (JAEA)、
吉田尚生 (JAEA)
4. 配付資料
SAWG-II 3-0 議事次第
SAWG-II 3-1 第2回 SAWG-II 議事録 (案)
SAWG-II 3-2 高レベル濃縮廃液蒸発乾固時の放射性物質放出・移行に係る試験について
(旧 JNES/JNFL/JAEA 共同研究)
SAWG-II 3-3 JNFL の高レベル濃縮廃液の蒸発乾固に係る研究成果
SAWG-II 3-4 蒸発乾固事故の模擬-解析モデルの概要-
5. 議事概要及び決定事項
 - (1) 人事案件
池田主査より、今回会合より松浦治明氏 (東京都市大) を新規オブザーバとして迎え入れたいとの提案があり、承認された。
 - (2) 前回議事録 (案) の確認 (資料 SAWG-II 3-1)
前回議事録 (案) について承認された。
 - (3) サブワーキンググループについて
事象ごとにサブワーキンググループを設置することになった。委員はいずれかのサブワーキンググループに所属することになった。

(4) 高レベル濃縮廃液蒸発乾固時の放射性物質放出・移行に係る試験について（資料 SAWG-II 3-2）

阿部幹事より、旧 JNES/JNFL/JAEA 共同研究として実施した種々の試験について説明がなされ、情報を共有した。蒸発乾固事故時における亜硝酸の効果や、Ru の放出挙動、移行挙動に関する説明がなされた。

(5) JNFL の高レベル濃縮廃液の蒸発乾固に係る研究成果（資料 SAWG-II 3-3）

柴田オブザーバより、ショ糖を用いた揮発性 Ru の放出抑制効果などに関する説明がなされ、情報を共有した。また、SUS 容器を用いた LPF 測定試験について説明がなされ、容器の温度が LPF に影響を及ぼすことが示された。また、硝酸（+亜硝酸）溶液中での Ru 化合物の UV スペクトル変化から、Ru が凝縮液等へ移行する際の RuO₄ の還元過程について説明がなされた。

（LPF：放出経路での低減率（Leak Path Factor））

(6) 次回会合について

次回会合は平成 27 年 7 月 31 日（金）10:00～12:30 に開催することになった。時間の都合から、今回準備した SAWG-II 3-4（蒸発乾固事故の模擬-解析モデルの概要）については次回の会合で説明がなされることになった。

以上